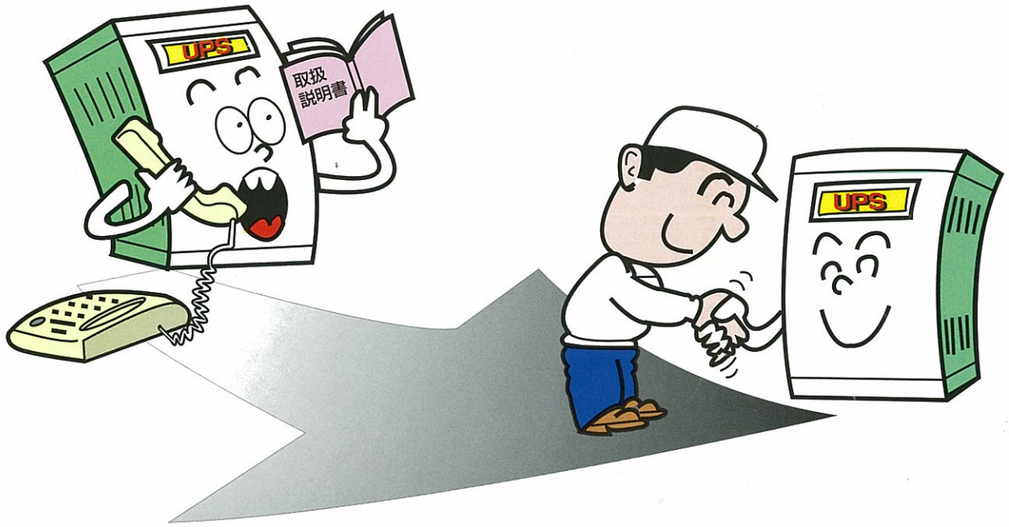
UPSのバッテリ交換は計画的に

現在、身の回りでお使いのUPSのバッテリ交換時期をチェックしてみましょう。

バッテリ交換に当たって……

●まず、バッテリ交換時期を確認して交換してください。
●バッテリ交換のお問合せは、ご購入先またはメーカにお問合せください。



JEMAの取組み

●UPS及びバッテリの取扱いに関するガイドラインを設定しております。
●UPS検査方法や用語に関してのマニュアルを作っています。
●UPSに組み込まれているバッテリの保守・交換を推進しています。
●UPSの普及のためのパンフレットを発行しています。
●皆様のご意見を伺うアンケート調査をしております。
●この他ユーザーの皆様のお役に立ちたいと考えています。

BAJの取組み

●バッテリの取扱いに関するガイドラインを設定しております。
●バッテリの試験方法や用語に関してのマニュアルを作っています。
●バッテリの保守・交換を推進しています。
●使用済み電池のリサイクル活動を推進しています。
●この他ユーザーの皆様のお役に立ちたいと考えています。

人と社会と技術の調和 JEMA 社団法人日本電機工業会
〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目4番15号 TEL(03)3581-4842
ホームページアドレス http://www.jema-net.or.jp

社団法人 電池工業会 BAJ BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN
〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内 TEL(03)3434-0261
ホームページアドレス http://www.baj.or.jp/

●お問合せは…

平成12年12月発行（70K）

UPSのバッテリ交換は計画的に

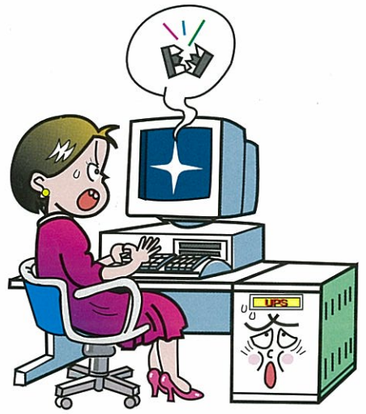
(Uninterruptible Power Systems)

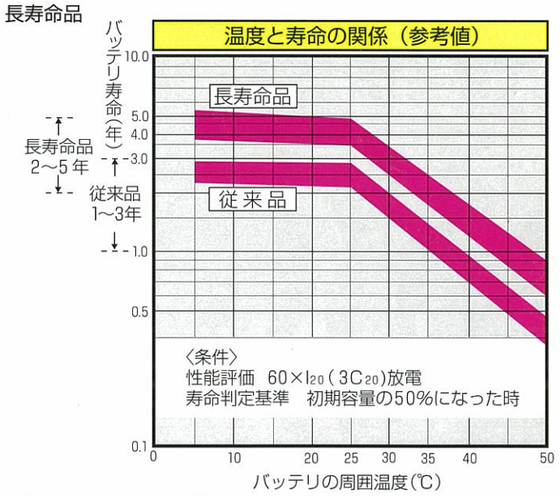
ご案内

UPSをお使い頂いているユーザーの皆様やこれからご購入を予定されているユーザーの皆様に、UPSに使われているバッテリ保守についてのご案内を申し上げます。

バッテリにも寿命があります。

UPSに組み込まれているバッテリには寿命があります。バッテリにはいろいろな種類がありますが30kVA以下の小さなUPSには小形制御弁式(シール)鉛バッテリが多く使われています。このバッテリには従来品と最近普及を始めた長寿命品があります。使用環境(温度など)によってもちがいますが、従来品1～3年、長寿命品2～5年を目安として必ず交換していただくようお願いします。





（出典：JEM-TR204）

交換時期を過ぎたバッテリを使っていると……

UPSは普段と変わり無く働きつづけますが電源の瞬時停電などが発生した時にUPSの出力が止まりデータ消失など取り返しがつかなくなります。さらに、そのまま使用しますとバッテリの容器が割れ、中の液が漏れたり、異臭・発煙・発火などの二次障害を引き起こす原因となりますので、寿命が尽きる前に交換をお願いします。

人と社会と技術の調和 JEMA 社団法人日本電機工業会
The Japan Electrical Manufacturers' Association

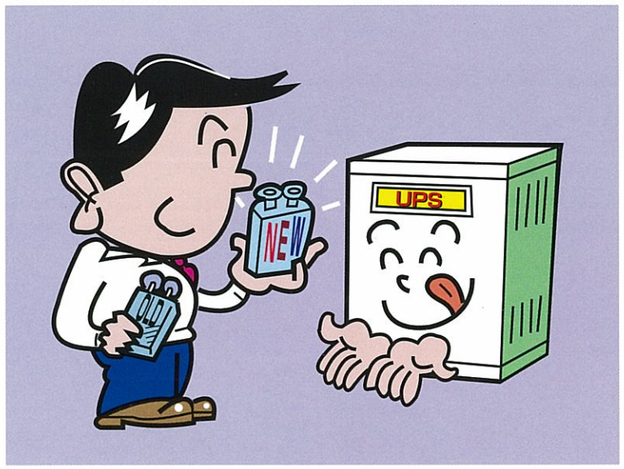
社団法人 電池工業会 BAJ BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

UPSのバッテリ交換は計画的に

計画的なバッテリ交換でいつもフレッシュ。

バッテリの交換（従来品では 1～ 3年、長寿命品では2～5年を目安）と、ファンなどの消耗品の交換は購入後3年目をめどに、UPSは購入後6年目をめどに買い替えもご計画ください。さらに、1年に1度の定期点検をお勧めします。

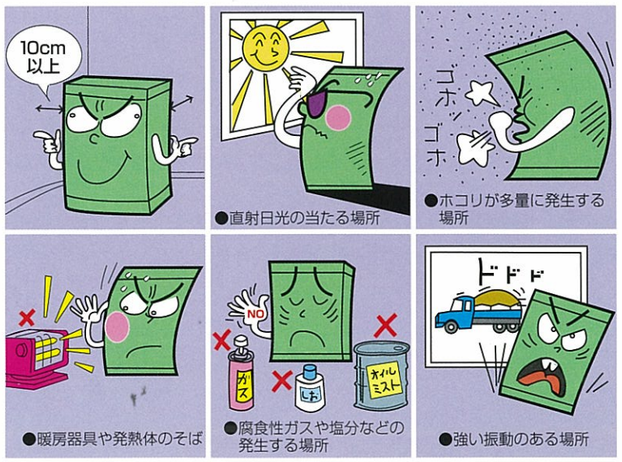
●UPSの耐用年数
10 kVA以下　5～6年
10 kVA超　　6～10 年
「汎用半導体無停電電源装置（汎用UPS）のユーザーズガイドライン」より抜粋（JEMA発行）



UPSもやさしく扱ってください。

UPSに組み込まれているバッテリは温度が高くなると寿命が短くなるため、UPSは風通しの良い場所を選んで据え付けてください。

●壁から10 cm以上はなしてください。
●直射日光を避けてください。
●ホコリの少ないところに置いてください。
●暖房器具からはなしてください。
●腐食性ガスや塩分、オイルミストのないところを選んでください。
●強い振動や衝撃のないところに置いてください。



バッテリはだんだんとやせ細ってしまいます。

バッテリは長年使用していると電気エネルギーを蓄積できる能力が徐々に低下し、その能力が半分になったときが寿命とされています。
UPSに使われるバッテリの交換時期の目安は、バックアップ時間が購入時の約半分になったときです。
それ以降は短期間に能力が減少します。

購入時、定格負荷をかけた時のバックアップ時間を示しています。

取扱説明書（例）	
バックアップ時間	10分

寿命末期のバックアップ時間は購入時の約半分になります。

寿命末期バックアップ時間	5分＝10分÷2

バッテリを捨てるときには注意してください。

バッテリは廃棄物処理法で、ユーザーの責任において、いろいろな手続きを踏んで、廃棄しなければなりません。
バッテリは、鉛、希硫酸及びプラスチックが主な成分です。
これらは、廃棄物の分類として使用者により異なり、事業用に使用した場合は、産業廃棄物、家庭用として使用した場合は、一般廃棄物となり、各々廃棄方法や廃棄物の分類が次のように定められています。
事業用に使用した場合は「特別管理産業廃棄物」となります。
事業者が使用した（事業のために使用したUPS）バッテリを廃棄する場合は、特別管理産業廃棄物管理責任者を設置し、資格を有する運搬業者に依頼し、資格を有する処理業者に依頼して処理すると同時に、これらが確実に実施されたことを確認するために、定められた様式（マニフェストという）の記録をとって、保管、報告する義務があります。
家庭用に使用した場合は、地方自治体により、その対応方法が分れていますので、各々の地方自治体にご確認ください。
くわしいことは、ご購入先またはメーカにお問合せください。